
米 生 産

第一回豫想收穫高は
二百廿四萬七千四百餘石

前年より十一萬四千六石の減少

本年の縣下米作付反別は十三萬三千七百九十四町一段で前年作付反別に比し二千三百四十一町二段(割一分七厘六毛)を増加した。而して九月二十日現在に於ける豫想收穫高は二百二十四萬七千四百四十石で、前年收穫高に比し十一萬四千六石(零割四分八厘三毛)を減じ、前五ヶ年平均收穫高に比し二十一萬九千八百八十六石(一割零分八厘一毛)の増加に當つてゐる。蓋し本年の稲作景況は播種當時に於ては天候が適順であつたが梅雨期に入つては所謂空梅雨を思はせ降雨少く爲に縣南地方では植付不能の聲を聞いたが七月上旬になつて漸く梅雨的氣象となり、降雨が充分だつたので順調に植付を完了した。そして七月下旬から八月になつては縣北地方に僅かの雷雨を見ただけで高温多照寡雨に經過したので水稻では順調な發育を見たが陸稻は早害を蒙り爲に暴風雨の被害はなかつたが前記の收穫を豫想せられる様になつた。尙ほ全國の本年米

第一回豫想收穫高は六千六百九十九萬二千七百七十石で第一位は新潟縣の四百八萬七千二百石、次は北海道の三百三十五萬四千七百四十石、第三位は福岡縣の二百五十萬八千五百三十石で茨城縣は第四位を占めて居る。茨城縣第一回豫想の郡市別は左の如くである(内譯と計と一致しないのは四捨五入十位に止めた爲で對比中△印は減)

水戸	東茨城	西茨城	那珂	久慈	多賀	鹿島	合計
作付反別 三八・七	三三・五九	六六・〇九	二五・五四	七・六九・九	四、四〇・八	九、三九・四	一一三、七四・一
第一回豫想收穫高 三四五〇石	一五、九〇〇	二四八、〇〇〇	一三三、六〇〇	一四五、九〇〇	七四、六〇〇	一六、三〇〇	二、一四七、四〇〇
前年收穫高 と對比増減	△ 〇・三	△ 一、七〇〇	△ 六、〇九六	△ 八、三七	△ 三、四〇〇	△ 一、八八七	△ 二四、〇〇六

行方	新治	筑波	眞壁	水戸	東茨城	西茨城	那珂	久慈	多賀	鹿島	行方	新治	筑波	眞壁
作付反別 一七・五	二、七九・三	九、六四・九	二、五〇・七	六、九八・七	四、八八・四	五、六八・五	六、四六・九	三、六九・九	六、四〇・六	六、〇四・〇	一、三五・〇	九、四四・五	七、〇三・一	九、五八・六
第一回豫想收穫高 二、一八七〇	三三、六〇〇	一七、七四〇	三三、四〇〇	二四、三三〇	九、〇〇〇	二二、九四〇	二五、九二〇	七、四四〇	二二、三〇〇	二六、二七〇	三三、〇〇〇	三三、八〇〇	二五、七五〇	三三、〇〇〇
前年收穫高 に對比増減	△ 一、三八〇	△ 三、七〇〇	△ 三、一〇八	△ 八、八〇〇	△ 一、三〇〇	△ 一、七三〇	△ 一、八〇〇	△ 一、三〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、八〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇

北相馬	猿島	結城	眞壁	筑波	新治	行方	鹿島	多賀	久慈	那珂	西茨城	東茨城	水戸	合計
作付反別 四、八〇・七	四、三三・四	六、一一〇・六	九、五八・六	七、〇三・一	九、四四・五	一、三五・〇	六、〇四・〇	六、四〇・六	三、六九・九	五、六八・五	四、八八・四	六、九八・七	一、七五	一、八〇・七
第一回豫想收穫高 一、九四、七〇〇	一、八〇、四〇〇	二、二六、四〇〇	三、〇八、六〇〇	二、五七、五〇〇	三、三三、〇〇〇	三、三三、〇〇〇	二、二六、二七〇	二、二六、二七〇	一、七四、四〇〇	二、二九、四〇〇	二、二九、四〇〇	二、二九、四〇〇	二、二九、四〇〇	二、二九、四〇〇
前年收穫高 に對比増減	△ 一、八八七	△ 一、〇三三	△ 三、〇〇〇	△ 三、〇〇〇	△ 三、〇〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇	△ 一、一〇〇